

豊川市出身の元サッカー選手、近藤岳登さんは言った。

「自由の反対は不自由ではない」

「自由の対義語は責任だ」

「責任を果たさない者は自由を主張する資格はない」

この言葉を初めて聞いたのは小学校六年生のときだった。そのとき、何となく理解はできたが、それを体感したのは中学校二年生の春休みだった。

僕が所属しているサッカーのクラブチームで、ポーランド遠征に行った。僕のチームのコーチは、ウクライナやタイでプロサッカー選手としての経験があり、一度引退した後も再度挑戦をし、三十代後半であるが、現在もポーランドでプロの選手として活躍している。僕が目標としている大人の一人だったそのコーチと一緒に、ポーランドへ行った。僕にとって初めて海外の土地を踏んだ経験であった。

ポーランドの正式名称はポーランド共和国。中央ヨーロッパに位置する共和制国家。首都はワルシャワ。北はバルト海に面し、北東はロシアとリトアニア、東はベラルーシとウクライナ、南はチェコとスロバキア、西はドイツと接する。位置関係から想像できる通り、隣国のロシアとウクライナが戦争を行っているので、安心できない状況である。

また、歴史的にもポーランドは、ドイツ、ロシア、オーストリアに挟まれ、幾度とない戦争の末、その領土は奪われ、十八世紀には周辺強国により国土を分割され、百二十年の間、ポーランドという国自体が地図上から消えていた。ポーランド人は、そういった苦難の時代を生きながら、民主化運動を起こし、自身の信仰を守り抜

き、一九八九年にはポーランド共和国となり、再興することができた。ポーランド人のたくましさそのものが、現在の経済状況にも影響し、国の豊かさを支えている。

ポーランドの経済水準は、九十年台初めには、一人当たりのGDPで日本の三割程度であった。しかし、その後は「欧州への回帰」を目標に順調に経済発展をし、EU加盟後の二〇〇六年には日本の五割程度のGDPとなった。そして、二〇一四年にはロシアを追い越し、近年では東欧の経済をけん引し、この地域で最も高い経済成長を実現してきた。

昨春秋、ポーランドの首都ワルシャワにユニクロが初出店し、そこに行く機会があった。商品を手にとった際、その値段の高さに驚いた。例えば、日本で一九八〇円で買えるスウェットは、ポーランドでは約七千円で売られていた。日本人の僕たちにとっては買おうと思わない値段であるが、現地の人たちは普通に買っている。これが何を意味しているのか。日本の企業を作った商品が海外で買ってもらえているということは、日本人にとって誇らしい話であるが、何より現地の人が当たり前のようにスウェットを七千円も出して買っている生活水準の高さに、ポーランド人の生活の豊かさを感じた。

サッカーの話にもどるが、ポーランド人のプレーはとてもストリートである。サッカーはボールをもった瞬間にパス、ドリブル、シュートなどの選択肢から選んでプレーをしていくものだが、僕は未だに迷いの連続の中ピッチに立っている。ポーランド人にはその迷いが無い。シュートを打つと決めたら豪快に足を振りぬき、パスでボールを運ぶなら細かいパス回しをしてくる。これはポーランド人の国民性そのものといえる。

ポーランドの経済事情やサッカースタイルの話をしたが、僕たち日本人と彼らの根本的な違いは「自由と責任」にある。

経済発展についても「自分たちの生活を豊かにしたい」という思い、その根本には「他国に侵略されたくない」という国民一人一人

が抱く思いが責任を果たす行為とつながり、その結果、経済が豊かになって自由を手に行っている。

一方、僕たち現代の日本人はどうなのか。義務教育という与えられたものを学び、こなすことで優劣をつける社会が出来上がっている。努力した者が報われる仕組みは悪くないが、考えなくても指示を待つだけで何となく働けてしまう。お金がもらえてしまう。機械のような人間が増えてしまっている。

僕がポーランド遠征で目の当たりにしたサッカーは、僕のサッカーとはまったく違った。

指示を待つ、指示をこなす、機械のようになりかけた僕たちに勝てる要素はなかった。与えられたものをこなすことは、責任を果たすことではなかった。

僕が肌で感じた経験は決して無駄にはならないと思う。大人になるまでの時間の中では、ごく短い経験ではあったが、この経験を大切に、自分の力としたい。与えられたものではなく、学びたいものを本気で学んでいくことが、僕が果たすべき責任と考えた。

この作文は課せられたものであったが、僕はただの宿題にはしたくなかった。この作文で自分自身を振り返るきっかけにしたかった。中学三年生、それは義務教育の中の最高学年である。今まで義務教育の中で僕たちは守られていた。勉強はやりたくないけれど、義務教育があつたからこそそれなりの知識を身につけてきた。しかし、この先は自分の選択で生きていくことになる。高校だつて選択しない手段もある上で、自分の進路を決めていく。今、自分がやりたいことを主軸に、進路を決めていきたい。

#### 「自由と責任」

その先には幸福が待っている。自由を主張して、責任をまっとうし、心の底から笑える人生を送りたい。